

## 1. ワークショップに対するご感想・ご要望

- ・図書館に対して熱い思いを持たれている初対面の方々と、有意義な意見の交換ができてよかった。
- ・色々な方の意見を聞く機会となり、皆さんが図書館が好きで楽しみにしているのが伝わってきてとても楽しい時間だった。
- ・具体的な図書館像をイメージしながらのワークショップで、いよいよ形になるのだなあ嬉しく思った。
- ・考える機会を得たことで、図書館を利用してみたくなったり、新図書館がとても楽しみにってきた。
- ・時間が短い。2時間はほしかった。また、進捗が時間を気にし過ぎていてよくなかった。

## 2. 新図書館に対する期待 (言いそびれてしまったことなど)

- ・動きにくい年代、子育て世代、高齢者、身体にハンディのある方などが使いやすいことを優先的に考えてもらいたい。
- ・幼少期から本に親しみ、大人になってまた子どもを連れて来る、リタイア後は毎日のように通いたくなる、そんな一生寄り添ってくれるような図書館になってほしい。
- ・市民が利用しやすい、憩いの空間として、本好きな人・子供を育てる図書館であってほしい。
- ・いろんな世代の方が、たくさん利用できる四日市市のシンボルとなるような施設になっていくことを願う。
- ・老若男女全ての市民がみんなで創り上げる、本と人そして人と人との出会いの場になるような温かな図書館が完成することを期待している。
- ・専門職員をおく、正職員として働いてもらうことは勤務の安定、仕事の持続性という意味で大事。

## 今後の予定

第1回に続いて、高校生を対象とした第2回ワークショップを8月10日(木)に開催し、14人の高校生に参加していただきました。

また、子育て世帯を中心とした第3回ワークショップを9月12日(火)開催予定となっており、さらにそれ以降も3回の開催を予定しています。

# 四日市市立図書館 市民ワークショップ NEWSLETTER

1



開催日：令和5年7月17日(月・祝) 会場：四日市市文化会館 第3ホール

四日市市では、近鉄四日市駅近くに新図書館を整備する計画が進行しています。新図書館のあり方は、平成30年1月に策定された「中心市街地拠点整備基本計画」の内容を基本としつつ、その後の技術の進展や立地の変更等も踏まえながら、滞り型図書館としての機能を中心に、検討の具体化を進めています。

令和5年度における基本構想の策定に当たり、新図書館にふさわしい、心地よい空間づくりや、新図書館に期待される機能・使い方などについて、市民の皆さまのご意見を把握するためのワークショップを開催します。(全6回を予定)

第1回となる今回は、総勢26名の方にご参加いただき、2パターンのモデル案をたたき台としながら、6つのグループに分かれて意見を出し合っていました。

### 当日のプログラム概要

開会～事業経過の説明、先進事例の紹介等  
グループワーク(途中休憩を含む)  
各グループからの発表

## ■ 児童・子育てのフロア

- ・ 独立したフロアになっていることを評価する声が多く聞かれましたが、一方で、絵本と一般図書を別々のフロアにしないほしい（大人が行きづらくなる）との要望もありました。
- ・ 下層階に配置したほうが、利便性や非常時の避難のしやすさの面から望ましいとの意見が多く聞かれました。一方で、子育て中の親が多様な本にふれやすくするには、児童・子育てのフロアは全体の中ほどにあった方がよいという意見もありました。
- ・ 子育て世代の使い勝手を考えた上下の移動手段（エスカレーター、エレベーター）の確保、ベビーカー置き場の設置、ベビーカーがすれ違える通路幅とすることなど、ハード面への配慮に関する要望がありました。
- ・ 託児スペースがあると嬉しいという意見もありました。

## ■ ティーンズ（10代の若者）への対応

- ・ 「静」と「動」でティーンズエリアを分けて設ける案を評価する声もありましたが、別々にする必要性があるのかという懐疑的な意見や、個人利用も含めて「動」の側でよいのではないかという意見もありました。
- ・ グループ学習室は、なるべく下の方にあった方が若い人が利用しやすいという意見がありました。
- ・ ライトノベルは児童のフロアに近いところであってほしいという意見もありました。

## ■ 学習室の機能

- ・ 成人用にも学習スペースがほしい、学生用とは別のものがほしいという意見が多く聞かれました。一方で、駅前で地価の高い当地を無料学習室に使って良いのかとの意見もありました。

## ■ 地域・郷土に関する機能

- ・ 地域・郷土のことをより知ってもらうために、また、観光・情報発信機能との連携も考えて、下層階に配置すべきとの意見がありました。
- ・ 地域・郷土の資料を映像で残す取組や、各フロアに四日市の美しい景色を見られるモニターの設置、地域の課題を日々話し合う場として四日市を一望できる会議室を設けるといった提案がありました。

## ■ 吹抜けを設けることの是非

- ・ 下層階にある交流機能・賑わいとの連動や空間としての解放感の観点から吹抜けを設けることに肯定的な意見が多く聞かれましたが、不要という声もありました。

## ■ 其他のご意見・ご要望

- ・ バリアフリー資料は下層階においた方がよい。
- ・ 外国語図書をあえて一般図書と別にする必要はない。また、図書館の入口となる3階で外国語図書の存在を強調できるとよい。
- ・ 音楽視聴スペースやスタジオがあるとよい。
- ・ 雑誌は気軽に読めるフロアにあるとよい。
- ・ 新聞を読む世代は高齢の方が多いので下層階の方が体に優しい。
- ・ 3階はフリースペースではなく、イベントや企画展示に使えるとよい。
- ・ 各フロアに人と人が出会えるコミュニケーションスペースがあるとよい。
- ・ 寝転がってくつろげる、リラックスして本が読めるスペースほしい。
- ・ 紙や木のあたたかみを感じられる空間になるとよい。
- ・ 静読を促進するため、クラシックを館内に流すとよい。
- ・ 色々な形の机や椅子があるとよい。
- ・ たくさん植物があるとよい。
- ・ 外が見えるようになってほしい。
- ・ 21時まで開館してほしい。

